

令和元年度

利島村教育委員会 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
「点検・評価に関する」意見

東京都多摩市青少年問題協議会落合地区委員会 会長

東京都多摩市立落合中学校 教育連携コーディネーター

主任児童委員

東京都多摩市立東落合小学校 放課後子ども教室リーダー

榑 つきみ

教育委員会の自己評価は、全34項目中、達成率75%以上のA評価が27項目、50%以上のB評価が7項目、C評価及びD評価はなしという結果でした。このことから、全体としては適正な管理・執行が行われていると判断して良いと思われま

す。以下、示された主な項目の「点検・評価」に関して、簡単にコメントを加えます。

1 教育委員会の活動

「(3) 教育委員会と村長との連携」では、昨年開催した「ふるさと利島に思いを寄せる日」を今年度も行い定着させたいとありました。広報としてまNo.314の表紙を飾る昨年の写真を拝見しました。幅広い年齢層の皆さんの楽しそうな様子が伝わってきます。ゴイワイヅエの若い親子の笑顔はとても素敵です。定着するといいいですね。

2、教育委員会が管理・執行する事務

「(5) 離島高校生就学支援事業の事務に関すること」で、支給期間が3年間でなく在学期間中となり、さらに支給額も増額すること、大変に喜ばしいことです。自宅を離れての高校生活になりますので、保護者にとってはどれほど心強いことでしょう。若い世代の育成に村をあげて取り組まれているのが伝わってきます。

3、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

「(4) 児童・生徒の他地区との交流」で、今年度よりサマースクールは役場全体の取り組みとしたとありました。檜原村から来島する子ども達が海辺の様々な体験に興奮し、歓声を上げる様子が目に浮かびます。きっと、今まで以上におもてなしの心を感じたことでしょう。

4、学校教育

「(2) 個に応じた学習指導」では、定期考査対策として放課後個別学力補充活動を実施したとありました。「(5) 小中一貫教育の継続」では、小中教員の協働による学習指導とありました。小中の先生方が情報を共有し、生徒一人ひとりに光を当てる小規模校ならではの強みと言えます。子ども達をよろしくお願ひします。

「(8) 故郷教育の推進」。今年は3ヵ年計画の2年目。「利島の今」がテーマですね。エビ網体験、利島中学校1期生のお話など、今につながる話、今を知る体験など、素晴らしい取り組みだと感じました。「9」家庭・地域に開かれた学校」にあった小学校音楽部の合唱披露。地域の方々は子ども達の歌声に大喜びされたことでしょう。故郷教育そして地域に開かれた学校というのは、子ども達だけでなく先生方も、利島の歴史と人々に向き合うこと。利島に思いを寄せることだと思いました。

「(13) 外国語指導、英語指導の取り組みとその成果」。小学生の発音の向上がみられたとのこと、ALTのおかげですね。中学校の文化祭では、中2年がオーストラリア海外派遣報告、中1年が授業内容英語発表を行ったとのこと。すばらしい取り組みです。今年は東京オリンピック2020年、益々の英語力、英会話力の向上が楽しみです。

5、社会教育

「(4) 地域教育力の活性化」。校外学習支援は、未来を担う子ども達にとって大変重要です。放課後学習教室への地域の支援は特に低学年にとっては有難いことです。村民の同好会活動は、人間同士の学びの場として必要なものです。体力維持のため親睦のため、地域教育力活性化のため、子ども達のため、補助金の投入をお願いします。

東京都人権作文コンテスト、奨励賞おめでとうございます！！

そして、東京都児童生徒表彰おめでとうございます！！

児童・生徒会が、数十年続けてきた環境美化活動「道掃除」が評価されたとのこと、本当に嬉しく思います。始めたころの子ども達が、お父さんお母さん、あるいは、おじいちゃんやおばあちゃんになっていらっしゃるのでしょうか。利島っ子が長く長く続けてきた「道掃除」活動ですから、村民の大半が授賞されたのと同じこと。利島村全体の名誉ある受賞ですね。本当におめでとうございます！

以上